

## 神経をとったのに痛い… この歯の痛みどこから来るの!?

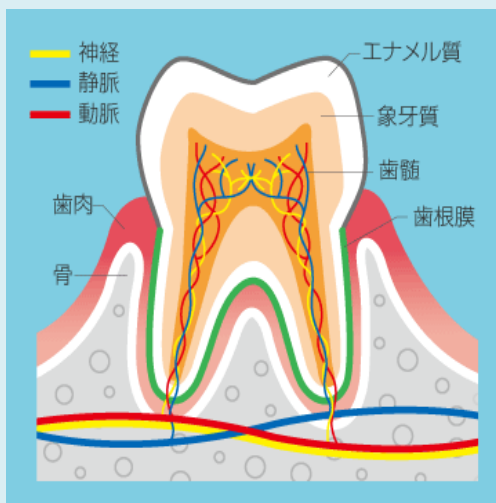
『歯の神経が痛みのセンサーだ』ということはみなさん、よくご存じですよ？  
それではむし歯が悪くなったときに神経を取って治療をした後もなぜか感じる  
ジワジワとした痛み、あれはいったいどこから来るのでしょうか。

『神経が取りきれいていないのでは?』って？

いえいえ。実は、歯や歯の周りは痛みや違和感を受容するセンサーだらけ。  
歯の神経のほかにもたくさんあるのです。

**痛みや違和感についての切実な疑問にお答えします!!**

### 神経だけじゃない! 痛みのセンサー



**象牙質**…エナメル質が傷んで穴があくと様々な刺激が歯髄に伝わり痛みが生じる。

**歯髄**…歯が痛い、といえば誰もが思い浮かべる歯のセンサー。

**歯根膜**…歯と骨をつなげる靭帯。三叉神経に繋がっていて、ここに炎症が及ぶと痛みや違和感が生じる。

**骨(歯槽骨)**…歯を支えている骨とそれにつらなるあごの骨。炎症が起きると強い痛みが生じる。

#### Q. 神経を抜いたのになぜ痛む?

A. むし歯の炎症が歯の周囲に及んでいると感染した神経をどんなにきれいに取り除いて痛みや違和感はそのあとしばらくは続きます。

#### Q. 急に痛みが消えるのはなぜ?

A. 「痛みが消えた」とホッとしてはいけません! 神経が死んでしまうほど歯の破壊が進んで痛みが消えただけかもしれません…。

「歯の痛み」と一言でいっても、検査で原因を特定できる一般的なものから、調べても原因がわからないものまで多種多様。歯科医師が「検査では治っているはずなのに…」と首をひねっているときは紹介状を書いてもらい、一度お口の痛み専門外来で謎の痛みについて診療を受けましょう!

そして、痛みが消えたその後は歯科のメンテナンスを定期的を受け、歯が痛くならないように守っていきましょう!!